



あくんちゃらんど

校訓『負けじ魂』

キャッチフレーズ「祖先の知恵を受け継ぐ大城小」

HP アドレス <http://www.erabu.net/ohjirosho120/> 令和6年11月22日発行 No. 7

創立126周年を迎えるに当たって

校長 根釜 恵理子

12月1日は、大城小学校の創立記念日です。大城小学校では、毎年創立記念を祝して式典を開催しています。なぜ毎年創立記念式典を開催しているのか、なぜ校訓が「負けじ魂」となったのか、「創立100周年記念誌 第26代校長 島田信彦氏 寄稿文」を引用する形で、御紹介させていただきます。

明治31年(1898年)1月、ここ当原の地で全く新しい学校建設は始まった。すべて人力で工事は進められた。校区民老若男女が総力を結集して、『おらが学校』建設の為に汗水を流し、校舎は8月に竣工した。生徒は勿論のこと、全校区民の喜びと感激は絶頂に達し、9月1日の開校を心から楽しみにしていた。ところが8月27日古今未曾有の大暴風が襲来し、一夜の中に校舎は全壊してしまった。喜びの絶頂から悲嘆のどん底へ突き落とされた校区の人々は、一時は呆然自失の状態だった。そのままへたばりくじけることは決してなかった。「何くそ～、こんな台風位で負けてたまるか。一日でも早く子ども達に勉強させることが大事だ」と9月に入るやいち早く復旧工事に着工し、校区民が前にも増して一丸となり「負けじ魂」の権化となって工事を遂工した。11月諸々の設備を整え、12月1日に玉城、皆川両簡易科小学校を合併して『大城尋常小学校』として発足した。当初は、当原学校と言っていた。大城小学校が毎年、創立記念日を祝賀するのは、先人達の苦勞と感激を偲び、語り継ぐ為である。

和泊町立大城小学校創立100周年記念誌

第26代校長 島田信彦氏寄稿文より引用

毎年創立記念式典を開催することで、子供たちの中に愛校心や愛郷心が育まれ、負けじ魂の精神が根付いていっていることを感じています。

来る12月1日(日)は、大城小学校の創立126周年を記念する式典と学習発表会を開催いたします。ぜひ、たくさんの皆様に御来校いただき、先人の苦勞と感激を偲びつつ、子供たちの学習発表を御観覧いただきたいと思います。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



10月27日(日)に秋季大運動会を開催しました。今年度、熱中症対策を考慮して開催時期を10月末にしました。まだまだ暑さが残る中でしたが、保護者や地域の皆様中学生の協力もあり、運動会はいへん盛り上がりしました。子供たちは、たくさんの応援に後押しされ、練習の成果を十二分に発揮していました。来年度も、多くの皆様に御参加いただき、盛大に実施できればと思います。



応援団長の感想



白組応援団長 6年 赤山 琴子さん
最初、団長になったときは、とても不安でいっぱいでしたが、練習を重ねるたびにみんなの「勝とう」という気持ちが伝わってきて、自分も頑張ろうと思いました。



少しの差で負けてしまったけど、みんなに協力してもらい、充実した思い出に残る運動会になりました。

赤組応援団長 6年 皆村 樹希さん
赤組の応援団長をしました。最初はきんちょうしましたが、みんなで練習をしているうちに慣れてきました。

みんなで力を合わせて、大きな声を出し、優勝できうれしかったです。



最高に良い思い出となり赤組のみんなに感謝しています。



【万寿主】



【5・6年一輪車の演技】



【押しの子】



【紅白対抗リレー】



【全校で記念撮影】



【Bling-Bang-Bang 玉入れ】